

同窓会だより

題字は渡辺将彦先生
(16回生)
— 発行者 —
岐阜県立
中津高等学校同窓会

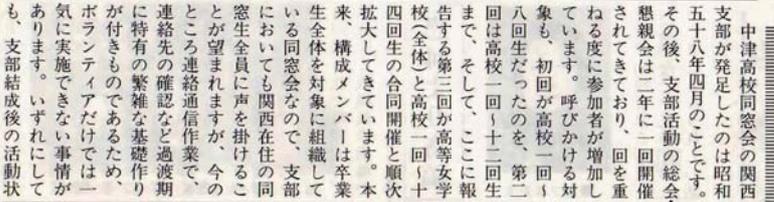
関東・関西支部

第二回総会盛大に開催

— なごりつきぬ懇親会 —

昨年十一月十四日(土)東京晴海のホテル浦島で関東OB会が九十一名参加して盛大に開かれました。同窓会側からは伊藤会長、吉川副会長と中津高職員の大山が写真係として出席しました。

関東OB会の開催は今回で三回目で前回は記念講演として、東京工科大学部長の末松安晴工学博士(二回卒)の「光ファイバー通信」の話や、そのほか大変学術的な雰囲気から始まりました。今回は二時より、先ず河内淳次郎(二回卒)関東支部長の挨拶に始まり、次いで今回この会のために前日イギリスより帰国された世話係の四回卒の東京理科大学教授加藤俊平氏、続いて伊藤同窓会長、吉川副会長、京都より上京された関西支部代表の中川鮮氏(八回卒)の挨拶が続きました。また現学校長の杉山仁氏よりのメッセージも伊藤会長から読み上げられました。続いて、東大文学部教授亀井俊介文学博士(二回卒)の「アメリカ文化と日本」と題して約一時間



第三回中津高校 関東OB会 昭和62年11月14日(於・東京ホテル浦島)

にわたり、アメリカ文化の風潮、風俗まで、ものごとく、日本文化の比較論について、の考えに到るまで、似ていて極めて理解に興味深くて、何だか奇異な感じが、講演されましたが、その中、特に印象的だったことは、「only yesterday」に出てくる一九二〇年代のアメリカの様子が、株価の暴落を始めた最近、はいよいよ第二部の懇親会に移り、一同乾杯とい

中津高校同窓会の関西支部が発足したのは昭和五十八年四月のことです。その後、支部活動の懇親会は二年に一回開催されてきており、回を重ねる度に参加者が増加しています。呼びかける対象も、初回は高校一、二回生だったのを、第二回は高校一、二回生まで、そして、ここに報告する第三回が高等女学校(全体)と高校一、二回生の合同開催と順次拡大してきています。本来、構成メンバーは卒業生全体を対象に組織している同窓会なので、支部においても関西在住の同窓生全員に声を掛けることが望まれますが、今のところ連絡通信作業で、連絡先の確認など過渡期に特有の複雑な基礎作りが付きものであるため、ボランティアだけでは一気に実施できない事情があり、支部結成後の活動状

うことになりました。そして、酔うほどに一同約四十年前の高校時代にもどり、その当時の恩師の消息や、学校生活の様子等を話している間に予定の三時間あまりが、またたく間に過ぎてしまいました。最後に校歌を力一杯歌って一応お開きということにして、続いて二次会は、同じホテルのスナックを借り切って、各卒業回毎に集まり大変なまでかかぬ懇談が夜遅くまで続かしていました。



亀井俊介氏の講演

の中味よりも私の中津井の説明の方が東京の方に大変なつらさを感じられたということでした。

足した中津高関東OB会も、昭和六十年秋の初総会以来はや三年。昨秋は伊藤同窓会長、中川関西支部長も出席、二回生の東大教授亀井俊介君の文化講演に続いて母校のスライドの披露もあり、パーティでの話題に花を添えて、

世話人をどうするかが鍵となる。現在掌握できているのは九回生位迄だが、これをどのようにな下に広げていくかが今後の課題。ご協力をお願いしたい。最近では百人前後のパーティが開ける様になったが、夢は三百人、五百人。この様なやり方が何時かはお役に立つ時が来るように。

またパーティで話題になることだが、手弁当で後輩にしてやることは、ないか、良い智慧があったらお貸し願いたい。最後に関東OB会がやられて来たのは、東京晴海の浦島(五三三三三)の総支配人、加藤朋世君に負うところが大きい。大いに感謝したい。

昭和六十二年、二月十日、同窓生のわれわれに、四日地鎮祭が挙行され、吉川工務店(社長吉川光彦氏、新制第五回卒業生)に依頼して、総工費六百四十万円を着工された。吉川工務店の献身的な「山?」「川!」なのでしよう。

同期会を一度に 関東OB会代表 河内淳次郎

青春時代あの坂の上の学舎を同じくした者が一夕集う、という趣旨で発

況から推測してみると、関西支部が全体を網羅的にまとまりのある姿に充実できる日もそんなに遠くないと確信しています。「支部」の設立を自他共に認める時が訪れたら関西支部小史でも記述してみよう。

全卒業生、高校・第一回一十四回 開催日時昭和六十二年五月二十四日十一時開催場所 新大阪チサンホテル大広間 実行委員 坪田孝子(女 十六回) 丹羽さだ(女 二十八回) 安藤喬(委員長 四回) 柴山幸裕(六)

長い土地の形状からして、弓道場がもつとも適当であらうという事になった。かつて中津高女時代、わが校の弓道部は、川本

本館書を唱う坪田孝子さんと岩瀬真代子さん 最近のパーティには、歌がときもかく、どこでも流行っているし、手取り早い懇親手段になり、一面では文化化しているようです。今回は、そうした中でも高女卒の方に、よって極め付けの出しも、のが演じられ、参加者の喝采をあげました。その一例を写真で紹介いたします。また、会を盛り上げるため、吉川副会長は故郷の歌を情感を込めて唄って下さいました。この日は、やはり大阪のホテルの一室は「中津川」中津高校の話題で溢れており、格別に熱い時が流れていました。関西地方に住む同窓生の力を結集することにより、母校中津高の発展の一助となるべく努力することを決意した次第です。そうした願いを関西支部会員が抱いていることを皆様にご報告いたします。

参加対象 高等女学校、同窓会、懇親会、昭和六十二年度中津高校同窓会関西支部総会、

関西支部 活動報告 中川 鮮 (副支部長・六回生) 同窓会としてお世話の卒業生が一同に会して、開催されたのですが、母姓の「アツチヤンの神田篤子先生もご在座で、是非思っとして招待し、あまりにもお若くて、かつて教壇に立っておられたお姿のままなので、われわれ同窓生の中に入らして頂きました。なお、参加者は一〇四名(高女二十九名)でした。安藤実行委員長の挨拶に続き、中川副支部長が、引き続いて伊藤会長よりご祝辞をうけて、中川は、「中津川は、日本のスイスランドである」という表現は、同窓の人でなくとも、おいしい水の町で、風景がよくて、空気が澄んでいて、こんなんだらう、と想像できませぬ。しかし、次のような表現には大変興味を湧きました。「私は本州に住んでいました。」「私は本州から通っていました。」など

中川 鮮 (副支部長・六回生) 同窓会としてお世話の卒業生が一同に会して、開催されたのですが、母姓の「アツチヤンの神田篤子先生もご在座で、是非思っとして招待し、あまりにもお若くて、かつて教壇に立っておられたお姿のままなので、われわれ同窓生の中に入らして頂きました。なお、参加者は一〇四名(高女二十九名)でした。安藤実行委員長の挨拶に続き、中川副支部長が、引き続いて伊藤会長よりご祝辞をうけて、中川は、「中津川は、日本のスイスランドである」という表現は、同窓の人でなくとも、おいしい水の町で、風景がよくて、空気が澄んでいて、こんなんだらう、と想像できませぬ。しかし、次のような表現には大変興味を湧きました。「私は本州に住んでいました。」「私は本州から通っていました。」など

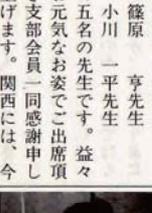
中川 鮮 (副支部長・六回生) 同窓会としてお世話の卒業生が一同に会して、開催されたのですが、母姓の「アツチヤンの神田篤子先生もご在座で、是非思っとして招待し、あまりにもお若くて、かつて教壇に立っておられたお姿のままなので、われわれ同窓生の中に入らして頂きました。なお、参加者は一〇四名(高女二十九名)でした。安藤実行委員長の挨拶に続き、中川副支部長が、引き続いて伊藤会長よりご祝辞をうけて、中川は、「中津川は、日本のスイスランドである」という表現は、同窓の人でなくとも、おいしい水の町で、風景がよくて、空気が澄んでいて、こんなんだらう、と想像できませぬ。しかし、次のような表現には大変興味を湧きました。「私は本州に住んでいました。」「私は本州から通っていました。」など

木曾路の歌をうたう副会長 吉川氏



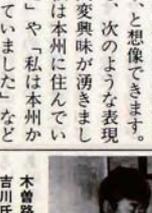
高等女学校卒業生の会員による自己紹介

当日の状況 わざわざ大阪までお越しいただいた方々をご紹介しますと、同窓会本部より、 会長・伊藤 成章氏 副会長・吉川 光彦氏 お元氣なお姿でご出席頂き支部会員一同感謝申し上げます。関西には、今



神田篤子先生

中川 鮮 (副支部長・六回生) 同窓会としてお世話の卒業生が一同に会して、開催されたのですが、母姓の「アツチヤンの神田篤子先生もご在座で、是非思っとして招待し、あまりにもお若くて、かつて教壇に立っておられたお姿のままなので、われわれ同窓生の中に入らして頂きました。なお、参加者は一〇四名(高女二十九名)でした。安藤実行委員長の挨拶に続き、中川副支部長が、引き続いて伊藤会長よりご祝辞をうけて、中川は、「中津川は、日本のスイスランドである」という表現は、同窓の人でなくとも、おいしい水の町で、風景がよくて、空気が澄んでいて、こんなんだらう、と想像できませぬ。しかし、次のような表現には大変興味を湧きました。「私は本州に住んでいました。」「私は本州から通っていました。」など



木曾路の歌をうたう副会長 吉川氏

高女八回

私達は正五年卒業です。実科三回卒の二方と昭和二十九年三人で始め...



昭和58年8月(85才をむかえて)

高女十回

明治生れ第十回卒業生の中確かな生き残り五人あり。水野茂、小島準...



手繰り乍ら懐かしい会合を開きます。腰の曲った人もあります。幸い私は健康やかに家事の手伝いや...

高女十六回

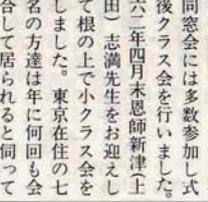
寒中とは思えぬ温かい日であった。大和長谷寺の長い回廊を歩きながら...



昭和62年度クラス会(於十和田湖)

高女十七回

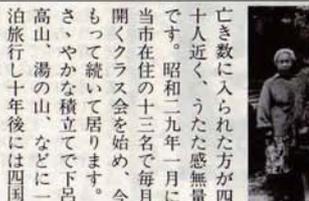
卒業後六十余年を歩むを迎える齢となりましたが皆さん割合元気で、九八名中五十名近く存命で頑張...



只今御病中の佐藤千代様御回復を祈るや切でございます。山内初枝様よりの東京便り。六十二年十月二日渋谷の「八山」で七名お集り...

高女十八回

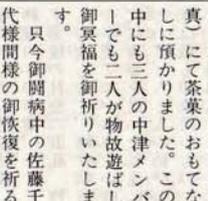
私達九三名の上に六十有年の春秋が流れます。遠藤、矢島、有賀、安村...



昭和54年4月29日(渡辺秋枝様方にて)

高女十九回

私共第十九回(昭和元年卒業)卒業後六十二年半世紀以上となりました。...



旭ヶ丘の学び舎を築立って六十年が過ぎました。昭和三十年九月クラス会を旧中津公民館で開催し...

高女二十回

人は生まれるより与えられた運命を背負ってそれだけの道を一生歩かなくてはなりません。...



昭和62年10月28日

高女二十一回

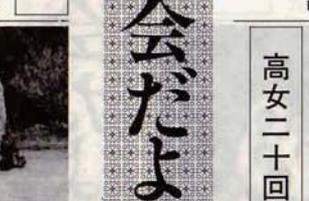
野先生を開んで写したのを祝福し、一路下呂湯ノ島館へ。曇り空もいつしか晴れて四十分到着。...



同窓会本部の皆々様御苦勞様でございます。駅に真向う思那山は暖冬と云いながら雪をかぶり、...

高女二十二回

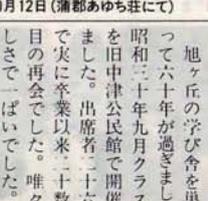
中津地方十六名と東京方面六名が草津で合流。翌日軽井沢の音羽の森で昼食後再びお別れしました。...



昭和61年5月11日(80周年記念式典にて)

高女二十三回

只今計画中ですが六月十九日諏訪方面一泊旅行を予定して居り、多数出席下さる様お願いいたします。(丸山 淑子)



卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...

高女二十四回

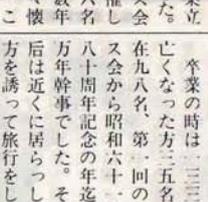
私達三十回生は毎月、楽しみ無尽をしております。メンバーは名古屋から一人名、恵那一名、坂下二名...



昭和62年5月(下呂温泉にて)

高女二十五回

卒業以来早や半世紀となり皆様お健やかに暮らしての事お喜び申し上げます。中津地方の同級生は年一度当番でクラス会を行...



昭和六十二年五月二十五日、午後一時中津川駅集合、名古屋方面の皆さんも十二時到着。次々とみな年々皆様と一年一度のお目もじ、お互の健康を祝うお目もじ、...

高女二十六回

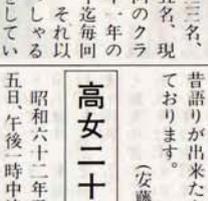
卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...



昭和62年10月19日(軽井沢にて)

高女二十七回

私達三十回生は毎月、楽しみ無尽をしております。メンバーは名古屋から一人名、恵那一名、坂下二名...



卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...

高女二十八回

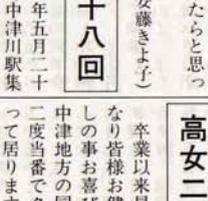
卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...



昭和62年5月(下呂温泉にて)

高女二十九回

卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...



卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...

高女三十回

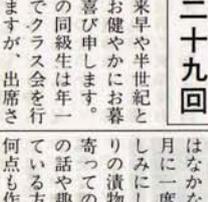
卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...



昭和62年10月19日(軽井沢にて)

高女三十一回

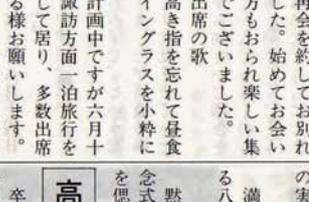
卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...



卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...

高女三十二回

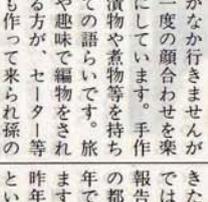
卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...



昭和62年10月19日(軽井沢にて)

高女三十三回

卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...



卒業生一四四名中現存一〇四名、死亡二十名住所不明四名です。八十周年記念の名簿作りの時、苦心の末一名の住所がわかり、...

学年会だより

す。病気をされた方も快方に向いつつあり、皆元気過ぎておもしろいこと願っています。(西尾文香) 又同級生の小堀悠子さんが短歌を寄せられましたので紹介します。 我が母校にはやも女の孫入学し卒業よりを振りかへり想ふ 遠近の三十回卒三十五人集ひて語らふ六十路を忘れ 高校の入試受かりし孫の声知らず電話にいたく弾めり 新春を祝きぐるごと庭石の根方に赤し数柑子の実は 満開の母校の桜咲き誇る八十周年を祝う如く 黙禱の樂の音届けき記念式に共に学びしき友を偲ぶ

同窓会だより

高十一回

皆様御無沙汰致しておりましたが、御変わり無き事と思ひます。

昭和三十五年卒業生に於いては、中津川に腰を落着けて、二十八年間……

子供も母校に厄介に成る年と成り、歳月の短かきに改めて、溜息をついている今日此の頃です。

昭和五十六年八月に同窓会開催以来です。遠方に在住の皆様は何かと故郷を思い出されて、近中に、学年の同窓会を中津川在住諸氏と打ち合せ、計画致したく思ひます。その節は御協力下さいませ。近況報告まで。(小早川俊通)

高十二回

本紙については、長年同窓会役員として携わっておりながら、もつと早くに定期発行できなかつたかと悔んでおりましたが、ともあれ期待してあります。

六年前(昭和五十六年)D・E・F三クラスの同窓会を計画し多くの参加をいただきました。そのおりにいただきました寄付金約十万円にて、一昨年の八十周年記念芸術展に出品された同級生藤井博君の作品を購入し中津高校へ寄贈しました。現在、図書館閲覧室に掛けられています。写真参照。藤井君は現在、立川市において前衛的芸術の創造に活躍しております。

私も卒業して26年になりました。当時の担任の先生方の現況をお知らせし、44年より中津高へ戻

ら、52年に御那高へ転出されて62年御退職(私立)にて教鞭をとっておられます。

○Eクラス 熊崎公平先生 39年岩村高へ教鞭とされて転出され、その後養老女商・中津商業・大垣商業などで校長を務められ、御退職され中津川に戻られておられます。

○Fクラス 古谷良平先生 38年中津川工業高へ教鞭として転出され、御退職後、坂下町に住まわれています。

○Gクラス 永田武男先生 52年まで中津高校に在職され、御退職後は坂本に住まわれています。

○Hクラス 江上利男先生 36年岐阜卓地の高校へ転出され、8年前に加納高校に職中に御病気で御逝去。

の先生方の出席率が百パーセントであったのに対し、同窓生は三十一パーセントと低く残念に思ひます。

「男、四十にして未だ家庭を離れられんや」と家庭を振り切つて駆け付けて戴く温かい思いを感じられずにはいられません。

念の進行は、記念写真・恩師の挨拶など形通りに見受けられたが、時の流れというものは人のさうまへ変えてしまふものです。

人生四十年、社



63.1.2 於 狩宿

学年会だより

○Iクラス 三宅きく先生 38年坂下女子高へ転出され、御退職後、市内桃山町に住まわれています。(菅井 延郎)

会の波を乗り越え立派に成長された姿は別人のごとく、過去の記憶と結び付けることができず、一人一人が自己紹介を行うことにより、認識を新たにした次第であった。恩師の先生方も益々お元気であられ、青山先生は毎年一回は外遊をなされていますし、可知先生・永田先生・井口先生は悠々自適の生活、あの悪名高石田校長先生は昨年今も退職された大目付、糸魚川教育界の大目付、糸魚川校長先生・鳥居先生は現職として教育界の中核で御活躍をされています。

今回の同窓会は、卒業してからあまりにも月日が流れ、時は熟し自然発生的に開催されることになった。同窓会の連絡は、クラス代表者が集まって幹事会で検討し、創立八十周年記念名簿をもとに葉書や電話作戦により少くとも多くの出席が得られるように、駆けずり回った。結果的には、恩師

「卒業15年目の同級会」いまから5年前、同級生が働いている恵那峡のホテルで開催されました。

懐かしい思い出は多くあつた訳ですが、初めのうちは全員が緊張感み。恩師の糸魚川忠平先生からの現状質問を各人が受け、御自身の手伝つて除々に打ち解け、参加できなかった人のうわさ話や、商売の話など、各人が人生を創り出し、立派に生きていく事を感じ、中津高校という共通の土台から、人生観を見つめていく事を知り出た。(終りに)住所、出席欠、会場、会費など、世話役活動が、いよいよ立ちまわす。今後、同級会が開催できるよう

に、取り組みます。(佐藤光司 旧姓丸山)

躍をお祈り申し上げます。(丹羽 肇)

高二十二回

私達は昭和46年3月の卒業生です。現在まで各クラス毎に同窓会は持たれておらずと思ひますが、私のクラスは最近はそのような機会がありません。他のクラスがどうかという事もわかりません。

数年前から、中津川へ戻つて生活している、主に運動部に所属していた者の有志が集まり、月に1度交流を深めて、月四六会(ヨンロクカイ)と呼ぶ集まりで、17名(2名、バレー2名、バスケット2名)を、体操1名、その他3名で、短期間でしたが野球チームを作つて活動していた時期もありました。今もユニホームはあるのですが、試合はなかなかやれないでいます。(可知 睦人)

藤原聰子さん 三重大に合格

藤原さんは、今年三重大学文学部の社会人入試を受験され、見事にその難関を突破されました。昭和五十二年三月、中津高校英語科を卒業し、高等看護学校へ進学、名高で二年間助産婦として働き、五年前から中津川市民病院の看護婦として勤務しておられます。志望の動機は「死ぬこととは、よく生きること」の著者千葉孝子さんの生き方に強く惹かれたこと、外国旅行をして日本文化をしっかりと伝えたい、助産婦として「ことば」を深く学びたい、などをあげています。

昨年七月、受験を決定し、英語を中心に猛勉強を開始、赤本で出題傾向をつかんだといひます。共通一次試験は必要なく、入試科目は英語、小論文、面接で、小論文の問題は「社会人から見た現代の大学生」でした。高卒が大検の資格のある、二十二歳以上の方、挑戦してみてください。

卓球部同窓会

私達は昭和47年卒業の卓球部の同窓生です。写真は15回目の忘年会です。部員は当時20名位居ましたが、互い頑張り、コートなど居ませんでしたが、試合では市内県大会で上位を占めインターハイへも出場しました。その情熱と団結心が今日まで会を続けています。15年たった今でも必ず当時の試合の話が出て活気があつて行こうと思つています。(高十三回 熊崎 恵子)

鮮やかに

森川 みどり (高女十五回)

「おっかさん」「かあちゃん」と呼びつづ近かれた学徒、軍人(歩行中爆弾に遭つた方)の呼びは現在尚胸中であらうづいて。戦後医師も寡なく一日平均八百余人の患者を女医三名と食事も忘れて診療。戦後の診療態勢も増加し、平常の診療態勢となし、昭和二十七年岡田病没。子供もなく、森川姓に移る。田舎で育まれた自然への憧憬はアルプス登山、スキーに約二十年続き、一方謡曲、日舞に二十年以上出演、その間に日本眼科医理事(現在理事)、愛知眼科医理事、理事及会長(現在顧問)、日本女医会理事、日本女医会愛知支部長(現在)又、昭和三十五年以降世界各国で開催された国際女医会に毎回参加し、友好を深め、女医の地位向上に努力の日々であった。医学の進歩は医療技術の向上により「生と死」の確保向上のためにとあらゆる面での戦が始まりました。後輩の地位の確立のため、昭和十年、現在地投球、昭和十年、現在地眼科開院、戦時下は敢然として救護に当たる。

海底の山に 同窓生の名

次いで、「日本の後期新生代における古水温と塩分濃度の変遷」を明らかにすることが、彼の研究課題となった。前年の夏、四十日にわたつて海底地質の調査船に乗り込んできた。貴重な研究資料を採集したことがある現地を、再度訪れたことが、片山君の最期となった。

片山君が亡くなったのは、八年前の昭和五十五年七月十日のことである。当時二十六歳、東北大学大学院理学研究科後期課程に在籍していた彼は、博士論文のための調査と資料の採集に出かけた小笠原諸島の父島で遭難した。選ばれたもので、人名が海山に直接つけられるのは大変珍しく、まして二十代の人々の名は、今が初めてであるという。御両親にとっては、生きて御息の姿こそ、何ものにも代えがたいことには言までもない。しかし、今は故人となつた片山君のためには、この命名は大変光栄なことである。東北大学の関係者と共に、中津高校としても、故人の名譽を偲ぶすがとなつたことを心に記したいと思ふ。

「片山山」は、父島の東北緯二五度五分、東経一四七度五分、水深一三六メートルの位置にあって、この若き学生物教室の先達の名を冠した「半沢山」の横に並んでいる。

高二十九回

「卒業15年目の同級会」いまから5年前、同級生が働いている恵那峡のホテルで開催されました。

懐かしい思い出は多くあつた訳ですが、初めのうちは全員が緊張感み。恩師の糸魚川忠平先生からの現状質問を各人が受け、御自身の手伝つて除々に打ち解け、参加できなかった人のうわさ話や、商売の話など、各人が人生を創り出し、立派に生きていく事を感じ、中津高校という共通の土台から、人生観を見つめていく事を知り出た。(終りに)住所、出席欠、会場、会費など、世話役活動が、いよいよ立ちまわす。今後、同級会が開催できるよう

高二十五回

「昭和48年度卒業生同窓会盛大に開かれる」

昨年の8月14日、なんと14年ぶりに全学年の同窓会が、中津川高砂殿に於いて開催されました。各クラス単位では同級会が開かれていたようですが、同窓生全員を一同に集めようとした試みは今回が初めてでした。

「やつとこめ、」を合言葉に各クラスより一人づつ幹事を決め(地元にいる方ばかり)、綿密な計画のもと、集まった同窓生は70数名。豪華な料理には一切はしりつけず3時間余の時はまたたく間に過ぎてしまいました。

参加者全員の賛同のもと64年夏に同窓会を開催することに決定されました。母校に寄せた愛情は

特別寄稿

憶い出遙か

鮮やかに

森川 みどり (高女十五回)

「おっかさん」「かあちゃん」と呼びつづ近かれた学徒、軍人(歩行中爆弾に遭つた方)の呼びは現在尚胸中であらうづいて。戦後医師も寡なく一日平均八百余人の患者を女医三名と食事も忘れて診療。戦後の診療態勢も増加し、平常の診療態勢となし、昭和二十七年岡田病没。子供もなく、森川姓に移る。田舎で育まれた自然への憧憬はアルプス登山、スキーに約二十年続き、一方謡曲、日舞に二十年以上出演、その間に日本眼科医理事(現在理事)、愛知眼科医理事、理事及会長(現在顧問)、日本女医会理事、日本女医会愛知支部長(現在)又、昭和三十五年以降世界各国で開催された国際女医会に毎回参加し、友好を深め、女医の地位向上に努力の日々であった。医学の進歩は医療技術の向上により「生と死」の確保向上のためにとあらゆる面での戦が始まりました。後輩の地位の確立のため、昭和十年、現在地投球、昭和十年、現在地眼科開院、戦時下は敢然として救護に当たる。

高二十六回

「卒業15年目の同級会」いまから5年前、同級生が働いている恵那峡のホテルで開催されました。

懐かしい思い出は多くあつた訳ですが、初めのうちは全員が緊張感み。恩師の糸魚川忠平先生からの現状質問を各人が受け、御自身の手伝つて除々に打ち解け、参加できなかった人のうわさ話や、商売の話など、各人が人生を創り出し、立派に生きていく事を感じ、中津高校という共通の土台から、人生観を見つめていく事を知り出た。(終りに)住所、出席欠、会場、会費など、世話役活動が、いよいよ立ちまわす。今後、同級会が開催できるよう

高二十七回

「卒業15年目の同級会」いまから5年前、同級生が働いている恵那峡のホテルで開催されました。

懐かしい思い出は多くあつた訳ですが、初めのうちは全員が緊張感み。恩師の糸魚川忠平先生からの現状質問を各人が受け、御自身の手伝つて除々に打ち解け、参加できなかった人のうわさ話や、商売の話など、各人が人生を創り出し、立派に生きていく事を感じ、中津高校という共通の土台から、人生観を見つめていく事を知り出た。(終りに)住所、出席欠、会場、会費など、世話役活動が、いよいよ立ちまわす。今後、同級会が開催できるよう

高十六回

今回の同窓会は、卒業してからあまりにも月日が流れ、時は熟し自然発生的に開催されることになった。同窓会の連絡は、クラス代表者が集まって幹事会で検討し、創立八十周年記念名簿をもとに葉書や電話作戦により少くとも多くの出席が得られるように、駆けずり回った。結果的には、恩師

「卒業15年目の同級会」いまから5年前、同級生が働いている恵那峡のホテルで開催されました。

懐かしい思い出は多くあつた訳ですが、初めのうちは全員が緊張感み。恩師の糸魚川忠平先生からの現状質問を各人が受け、御自身の手伝つて除々に打ち解け、参加できなかった人のうわさ話や、商売の話など、各人が人生を創り出し、立派に生きていく事を感じ、中津高校という共通の土台から、人生観を見つめていく事を知り出た。(終りに)住所、出席欠、会場、会費など、世話役活動が、いよいよ立ちまわす。今後、同級会が開催できるよう

高二十九回

「卒業15年目の同級会」いまから5年前、同級生が働いている恵那峡のホテルで開催されました。

懐かしい思い出は多くあつた訳ですが、初めのうちは全員が緊張感み。恩師の糸魚川忠平先生からの現状質問を各人が受け、御自身の手伝つて除々に打ち解け、参加できなかった人のうわさ話や、商売の話など、各人が人生を創り出し、立派に生きていく事を感じ、中津高校という共通の土台から、人生観を見つめていく事を知り出た。(終りに)住所、出席欠、会場、会費など、世話役活動が、いよいよ立ちまわす。今後、同級会が開催できるよう

高二十二回

私達は昭和46年3月の卒業生です。現在まで各クラス毎に同窓会は持たれておらずと思ひますが、私のクラスは最近はそのような機会がありません。他のクラスがどうかという事もわかりません。

数年前から、中津川へ戻つて生活している、主に運動部に所属していた者の有志が集まり、月に1度交流を深めて、月四六会(ヨンロクカイ)と呼ぶ集まりで、17名(2名、バレー2名、バスケット2名)を、体操1名、その他3名で、短期間でしたが野球チームを作つて活動していた時期もありました。今もユニフォームはあるのですが、試合はなかなかやれないでいます。(可知 睦人)

藤原聰子さん 三重大に合格

藤原さんは、今年三重大学文学部の社会人入試を受験され、見事にその難関を突破されました。昭和五十二年三月、中津高校英語科を卒業し、高等看護学校へ進学、名高で二年間助産婦として働き、五年前から中津川市民病院の看護婦として勤務しておられます。志望の動機は「死ぬこととは、よく生きること」の著者千葉孝子さんの生き方に強く惹かれたこと、外国旅行をして日本文化をしっかりと伝えたい、助産婦として「ことば」を深く学びたい、などをあげています。

昨年七月、受験を決定し、英語を中心に猛勉強を開始、赤本で出題傾向をつかんだといひます。共通一次試験は必要なく、入試科目は英語、小論文、面接で、小論文の問題は「社会人から見た現代の大学生」でした。高卒が大検の資格のある、二十二歳以上の方、挑戦してみてください。

卓球部同窓会

私達は昭和47年卒業の卓球部の同窓生です。写真は15回目の忘年会です。部員は当時20名位居ましたが、互い頑張り、コートなど居ませんでしたが、試合では市内県大会で上位を占めインターハイへも出場しました。その情熱と団結心が今日まで会を続けています。15年たった今でも必ず当時の試合の話が出て活気があつて行こうと思つています。(高十三回 熊崎 恵子)

鮮やかに

森川 みどり (高女十五回)

「おっかさん」「かあちゃん」と呼びつづ近かれた学徒、軍人(歩行中爆弾に遭つた方)の呼びは現在尚胸中であらうづいて。戦後医師も寡なく一日平均八百余人の患者を女医三名と食事も忘れて診療。戦後の診療態勢も増加し、平常の診療態勢となし、昭和二十七年岡田病没。子供もなく、森川姓に移る。田舎で育まれた自然への憧憬はアルプス登山、スキーに約二十年続き、一方謡曲、日舞に二十年以上出演、その間に日本眼科医理事(現在理事)、愛知眼科医理事、理事及会長(現在顧問)、日本女医会理事、日本女医会愛知支部長(現在)又、昭和三十五年以降世界各国で開催された国際女医会に毎回参加し、友好を深め、女医の地位向上に努力の日々であった。医学の進歩は医療技術の向上により「生と死」の確保向上のためにとあらゆる面での戦が始まりました。後輩の地位の確立のため、昭和十年、現在地投球、昭和十年、現在地眼科開院、戦時下は敢然として救護に当たる。

海底の山に 同窓生の名

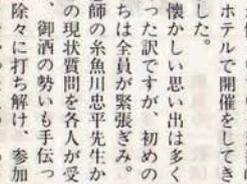
次いで、「日本の後期新生代における古水温と塩分濃度の変遷」を明らかにすることが、彼の研究課題となった。前年の夏、四十日にわたつて海底地質の調査船に乗り込んできた。貴重な研究資料を採集したことがある現地を、再度訪れたことが、片山君の最期となった。

片山君が亡くなったのは、八年前の昭和五十五年七月十日のことである。当時二十六歳、東北大学大学院理学研究科後期課程に在籍していた彼は、博士論文のための調査と資料の採集に出かけた小笠原諸島の父島で遭難した。選ばれたもので、人名が海山に直接つけられるのは大変珍しく、まして二十代の人々の名は、今が初めてであるという。御両親にとっては、生きて御息の姿こそ、何ものにも代えがたいことには言までもない。しかし、今は故人となつた片山君のためには、この命名は大変光栄なことである。東北大学の関係者と共に、中津高校としても、故人の名譽を偲ぶすがとなつたことを心に記したいと思ふ。

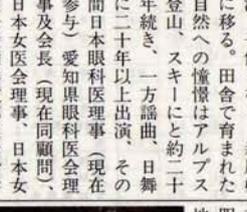
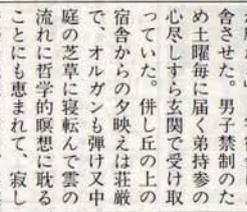
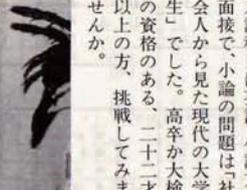
「片山山」は、父島の東北緯二五度五分、東経一四七度五分、水深一三六メートルの位置にあって、この若き学生物教室の先達の名を冠した「半沢山」の横に並んでいる。



藤井博氏の絵画



喜びの藤原聰子さん (中津川市民病院にて)



故片山敏男君

森田基子さん(30回生)

東京交響楽団と共演



グリークを演奏する森田基子さん

中津川市市制三十五周年、文化会館十五周年記念事業として六十二年十月十八日行われた東京交響楽団演奏会にて、本校卒業生森田基子さん(高三十回)旧姓・長瀬)が、グリークのピアノ協奏曲短調を演奏されました。その華麗でダイナミックな演奏は、万端の喝采を浴びました。その拍手の中、同窓会より花束が贈られました。

母校に絵画を寄贈

笠木茂氏、花田勝太郎氏より絵画の寄贈をうけました。氏は東京芸術大学を卒業後フランスに留学。帰国してから中津川市を中心として数回の個展を開きその実力は広く認められています。現在東京の阿佐ヶ谷美術学院の理事もしておられます。



花田勝太郎氏の Specimen A

Table with columns: 作品名, 規格, 作者, 備考. Lists various artworks and their details.

本校所蔵の旧職員・卒業生の絵画

Table with columns: 作品名, 規格, 作者, 備考. Lists artworks from former staff and graduates.

同窓会文庫目録

Table listing library titles, authors, publishers, and other details for the alumni association library.

同窓会文庫の一層の充実を

野の大陸で育まれた中に、そして車窓の向うにあった。めまして、同窓生の方にうたというこことになりました。はたきさんの著書が出版されていくようです。この御都合をお願いいたします。御都合によりましては、購入させて頂きたいと思っております。同級生、先輩、後輩で出版された方がお見えでしたら、ぜひ母校の同窓会係までお知らせ下さい。

過去三ヶ年の大学進学状況

Large table showing university enrollment statistics for the past three years, categorized by university type and name.